

# 議会だより

― 一般会計決算認定など

可決・認定等―

平成27年第3回定例議会は、9月3日召集され、11日までの会期で開催されました。

本定例会では、6名の議員が町政について一般質問を行いました。

なお、可決・認定等された案件の概要は次のとおりです。

## 条例案件

◆吉野町課設置条例の全部を改正する  
(可決)

◆吉野町個人情報保護条例の一部を改正する  
(可決)

◆吉野町手数料条例の一部を改正する  
(可決)

◆吉野町地区計画区域内における建築物の制限に関する条例を制定する  
(可決)

◆予算案件  
平成27年度吉野町一般会計補正予算(案)第1号(可決)

3,055万9千円を追加し、総額59億577万7千円となりました。

主なものは、大字施設整備等助成金、地域バス運行事業、こども園管理事業、西谷地区河川管理事業、ふるさと吉野定住促進奨学金貸付金、文化財紹介映像多言語化事業、災害復旧関係事業にかかる増額補正です。

◆平成27年度吉野町国民健康保険特別会計補正予算(案)第1号(可決)

◆平成27年度吉野町後期高齢者医療特別会計補正予算(案)第1号(可決)

◆平成27年度吉野町介護保険特別会計補正予算(案)第1号(可決)

◆平成27年度吉野町水道事業特別会計補正予算(案)第2号(可決)

◆平成27年度吉野町水道事業特別会計補正予算(案)第2号(可決)

◆予算案件  
平成27年度吉野町水道事業特別会計補正予算(案)第2号(可決)

## 決算案件

◆平成26年度吉野町一般会計歳入歳出決算の認定について (認定)

◆平成26年度吉野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

◆平成26年度吉野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

◆平成26年度吉野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

◆平成26年度吉野町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

◆平成26年度吉野町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

◆平成26年度吉野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

◆平成26年度吉野町土地開発基金会計歳入歳出決算の認定について (認定)

## 契約案件

◆吉野山地区簡易水道統合事業送配水管布設替工事(蔵王堂く低区配水池)請負契約の締結について (可決)

◆契約方法  
指名競争入札

◆契約金額  
75,276,000円

◆契約の相手方  
株式会社 ダイシン

◆吉野山地区簡易水道統合事業低区配水池築造工事請負契約の締結について (可決)

◆契約方法  
指名競争入札

◆契約金額  
136,080,000円

◆契約の相手方  
株式会社 上田工務店

◆代表取締役  
上田秀幸(吉野町宮滝)

◆吉野山地区簡易水道統合事業南院谷浄水場築造工事変更契約の締結について (可決)

◆工事請負金額  
400,680,000円

◆変更後  
438,480,000円

◆契約の相手方  
日立造船株式会社(大阪市)

◆その他の案件  
平成26年度決算に基づく吉野町健全化判断比率等の報告について (受理)

◆町道の認定  
①吉野113号線 188.1M

②竜門21号線 742.9M

③竜門23号線 862.83M

④竜門121号線 95.9M

◆町道の廃止  
①竜門21号線 342.43M

②竜門23号線 1359.5M

③竜門121号線 386.3M

④竜門122号線 1723.9M

◆町道の変更  
①国栖67号線 835.3M

②中竜門79号線 890.6M

事項に関する閉会中の継続審査について  
議決されました。

### 委員選任同意

◆吉野町教育委員会委員の任命につき  
同意を求めることについて (同意)

本年10月14日をもって、町教育委員会  
委員 河崎 千鶴 氏の任期が満了するた  
め、大石 さゆり 氏(榎井)を任命すること  
について、議会の同意を得たものです。

### 意見書

◆「国際平和支援法案」および「平和安  
全法制整備法案」の慎重審議を求める  
意見書の提出について (可決)

提出議員 藪坂眞佐 議員  
賛成議員 辻本 茂 議員

### 一般質問

次のとおり一般質問が行われました。

◆西澤 巧平 議員から

・新病院に関わる便利なバス運行について  
・全ての住民にやさしいゴミ対策について

◆上滝 義平 議員から

・史跡 宮滝遺跡について  
・介護支援について  
(ホームヘルパー、介護士)

・モデルハウスについて(木造住宅)  
・総合政策課の内容

◆大村 陽 議員から

・町の財政問題について

◆辻本 茂 議員から

・「健康長寿日本一・子育て日本一」を目  
指す、その成果と今後の目標と諸課

題)について

・「ME資格取得等行政職員のスキルアッ  
プ」について

◆藪坂眞佐 議員から

・安心して住み続けられる吉野町創生  
のために

◆野木 康司 議員から

・今後のまちづくりの方向について

それぞれ質問が行われ、町長及び関係  
参事等が答弁を行いました。

### 地域リーダー・プロデューサー

人財塾 全過程終了



全5回の地域リーダー・プロデューサー人  
財塾の最終日となった9月14日、会場と  
なった吉野町中央公民館大ホールには地  
域活性化に関心のある住民の方や役場職  
員など、およそ30名が出席しました。

この人財塾は内閣官房シティアマネー  
ジャー、現・吉野町特別参与である木村俊  
昭氏を塾長に迎え、実学・現場重視の視点  
を学び、実践する地域リーダー・プロデュー  
サー役を育成することを目的に6月より  
開催されてきました。

最終回のテーマは「全国事例研究」  
Why so? So what? 『構想  
の発表』。この日は、「できない」を「でき  
る!」に変える実現力」と題して、地域活  
性化の動向や取り組み事例、学校がまちづ  
くりのポイントとなること、地域リーダー  
・プロデューサー人財の重要性、木村モデル  
「五感六育」の推進、広聴重視の視点など、  
笑顔、感動と感謝のまちづくり・ひとつく  
りのポイントについての講演がありました。

次に、「笑顔、感動と感謝のまちづくり」  
をテーマに、塾生が4つのグループに分かれ  
て、ワールド・カフェと呼ばれるグループ対話  
が行われ、そのままとめとして公民館の利活  
用や見直し、地区の人々が集まる場所づく  
りが大切、祭などを大切にして世代間の交  
流を図る、事業構想して楽しむ、笑いの場  
所づくりも大切など、グループで話し合っ  
た内容を発表しました。

全過程を終了した後、木村塾長は塾生  
に「現状やあるべき姿を理解した上で事業  
構想し、分かりやすいプレゼンで納得・理解  
していただき、多くの人と情報共有し、み  
んなで一緒にやっていく環境づくりが大  
切」とメッセージを贈りました。

### イオンリテール

桜基金寄附

9月26日イオンモール大和郡山店にて、  
イオンリテール(株)から吉野山の桜保全継  
承を応援する電子マネー「吉野さくら  
W<sup>ア</sup>ON」カード利用額の一部189万7、  
491円の寄附を受けました。



写真右よりイオンリテール(株) 執行役員近畿・北陸カンパニー  
後藤支社長、北岡町長、吉野町商工会 貝谷事務局長

「吉野さくらW<sup>ア</sup>ONカード」は、吉野町  
の産業・観光振興及び地域の発展のために  
平成23年2月に吉野町とイオングループが  
交わした業務提携の一環で、吉野の桜の保  
全を目的に発行され、このカードの利用額  
の一部が吉野桜基金に寄附されます。

吉野山の桜を今後も保護し継承してい  
くため、これらの寄付金は有効活用されて  
いきます。